



労働基準監督官志望者向け 三重労働局の紹介

労働基準監督官については、平成30年度の採用試験から、労働基準監督官採用試験の最終合格後、最終合格者が勤務を希望する都道府県労働局で採用面接を行い、採用後は、原則として採用された労働局で勤務することとなりました。

この資料では労働基準監督官を志望する方に向けて、三重労働局管轄の監督署や三重労働局での働き方等を中心に紹介しています。

三重県で一緒に働きましょう！

 厚生労働省

三重労働局

労働基準監督官を目指す皆さんへ



労働基準部長
津田 恵史

日本は、少子化・高齢化に伴い、人口減少局面にあり、多くの企業・職場で人手不足となっています。このような中であっても、経済の維持・成長を実現するためには、働く方一人一人の生産性を向上し、賃金の引上げにつなげていくことが重要です。

このためには、あらゆる企業・職場で、働き方改革を進め、労働災害をなくしていくことにより、全ての働く方が、安心して、安全・健康に働くための労働環境が確保されなければなりません。そして、このことは、働く方のみならず、その家族の生活にも影響することも忘れてはなりません。

労働基準監督官は、働く方のために、労働条件・安全衛生の確保に取り組む事業主の方を支えるために、日々取り組んでいます。そのやりがいは何事にも代えがたく、問題を解決し、労働環境の改善につながったときの働く方と事業主の方の喜ばれる様子を見ることができたときは、本当に嬉しいです。

労働基準監督官への期待は高まり、求められる役割・重要性は大きくなっています。

「働く方のために」 あなたの熱意・使命感が、今必要です。

「三重県」で「労働基準監督官」として働いてみませんか



津労働基準監督署長
古市 泰久

三重は海あり山ありの自然豊かなところです。四日市にはコンビナート、津・鈴鹿には自動車工場や造船工場、伊勢には旅館をはじめとする観光産業があります。林業や農業、漁業も盛んで、ありとあらゆる産業が存在しています。労働基準監督官として、オールマイティーな知識が身につけられると思います。

国家公務員である「労働基準監督官」として、三重県で働く人の安全と健康確保に寄与したい、働きやすい職場を作る手助けをしたい、ブラック企業で困っている人を助けたい。熱い思いと志を持った方をお待ちしております。

職員には三重県出身の人、入って縁があって定着した人、定期異動で三重に来ている若手の人さまざまな人がみえます。職場の雰囲気は、三重の温暖な気候の様に暖かいです。仕事に関しては、自らのワーク・ライフ・バランスと職員間の密なコミュニケーションによる心理的安全性の確保がなされていると思います（労働基準監督官として働きやすい職場環境をつくろうという意識が共有されています。）。

三重労働局管轄の労働基準監督署のご紹介

四日市労働基準監督署



当署は四日市市・桑名市・いなべ市など北勢地域を管轄しています。名古屋に近い事もあり、県内でも人口や産業が集中する地域です。

管内の産業は化学コンビナート地帯や自動車部品工場、半導体工場など工業が主ですが、大型のレジャー施設や温泉地域の旅館業などバラエティに富んでおり、

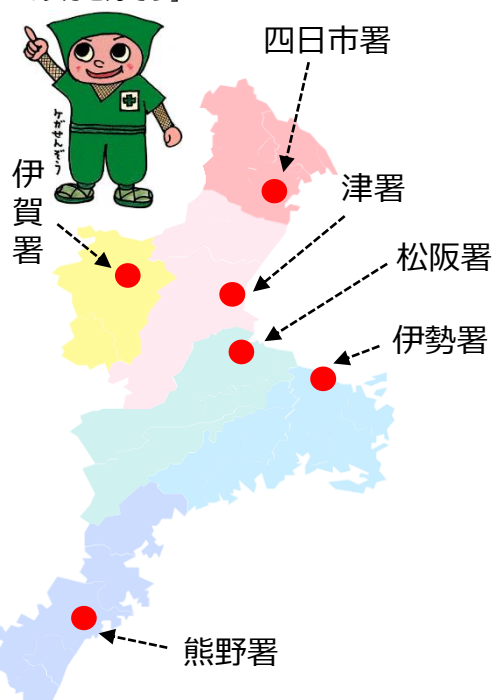
【久保田 署長】大企業への対応もあれば、業種も多種多様です。

当署は県内で一番大きな署であり、労働相談が多く、化学コンビナートもありますので、文系・理系問わず活躍できる場があります。また、司法処理業務も積極的に行っております。是非、「三重」で一緒に働きましょう。



名古屋、大阪などの
大都市圏に近く、
アクセスも◎

伊賀署キャラクター
「ケガせんぞう」



松阪労働基準監督署



当署は松阪市と多気郡を管轄しています。松阪は言わずと知れたお肉が有名です。管内の産業は、古くから松阪木綿に代表される商人の町として発展してきており、港湾地域や内陸部の工業団地での製造業、また管内の80パーセントを占める森林地帯を中心に林業、木材木製品製造業なども盛んです。自然豊かな多気郡には、大型リゾート施設も立地しています。

【杉 署長】

当署は若手職員のチャレンジによって支えられ、組織全体が日々成長しています。皆さんの視点や発想も大きな力になるはずで、困った時にはサポートする仲間もいますので、安心してください。皆さんとともに成長できることを楽しみにしています。



津労働基準監督署



当署は津市、鈴鹿市および亀山市の3市を管轄しています。県庁所在地である津市は県内の企業や団体の本店・本部も多く置かれており、また、世界有数のサーキットがある鈴鹿市には自動車産業が集積しています。亀山市は昔の宿場町の面影も残っておりますが、新名神高速道路の開通とともに物流の結節点とな

【古市 署長】

っています。当署は現在正規職員23名中10名が20代の若手の多い職場です。大規模署で多忙ですが、ワークライフバランスの確保と職員同士のコミュニケーションを密にをモットーにしています。是非三重で一緒に働きましょう。



伊勢労働基準監督署



当署は伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡がある南勢地域を管轄しています。一大観光地となっている伊勢神宮と海洋リゾート地である志摩地方があり、観光産業がメインとなっています。

当署では地元サッカーチームである「FC.ISE-SHIMA」とタイアップした労働災害防止活動を展開しており、

【小西 署長】地域に根付いた行政活動を行っています。

20代、30代の若手や女性の職員が多数配置されています。フロンティアなので、職場全体の業務連携や情報共有もスムーズに行える働きやすい職場です。

皆さんが労働基準監督官を志して、さらに、三重で働かれることを楽しみにしています。



伊賀労働基準監督署



当署は伊賀市・名張市を管轄しています。伊賀といえば忍者が有名ですが、当署にも「ケガせんぞう」という忍者のキャラクターが労働災害防止に向けた取組に一役買っています。管内の産業は、昭和40年に名古屋と大阪を結ぶ名阪国道が開通したのを転機に両経済圏の中間地域として工業団地が造成され、製造業が盛

【田中 署長】んな地域となっています。

当署は比較的小規模な監督署です。若手の監督官達は、署内で協力して業務に取組むことにより、知識と経験を積み重ねています。働く人の命と暮らしを守ることを、あなたの仕事にしませんか。誇りをもって続けられる一生の仕事になります。



熊野労働基準監督署



当署は熊野市・尾鷲市などを含む東紀州地域を管轄しています。管内は「熊野古道」の伊勢路にあたり、各所に有名な峠が存在する他、豊かな自然が魅力の観光地が多く、毎年夏に開催される熊野大花火大会も有名です。管内の産業は製造業をはじめ、地域性から林業、水産業、採石業もあります。同地域は過疎化が進

【中島 署長】んでいますが、高速道路網の延伸により交通の便は改善されてきています。

当署は県内で一番小規模な署ですが、大規模署のような慌ただしさはなく丁寧に業務に取り組むことができます。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



産業に偏りがなく、
様々な経験を積めます！

※三重労働局は津労働基準監督署と同じ建物に入っています。

現役監督官に聞きました



四日市労働基準監督署
小賀坂 第3方面主任
監督官
平成28年度任官



伊勢労働基準監督署
中原 安全衛生係長
平成31年度任官



三重労働局 監督課
林 監督官
令和3年度任官



松阪労働基準監督署
畑田 監督官
令和7年度任官

○監督官を目指した理由を教えてください。

- 学生時代に身内が労働問題に巻き込まれたことがきっかけです。労働者を守る方法を調べる中で、労働条件や安全の確保のために働く、労働基準監督官の仕事を知り、志望しました。(畑田)
- 学生時代に友人から労働基準監督官という仕事があることを教えてもらったことがきっかけです。監督官の仕事を知る中で、法律に基づいて会社に対し、必要な指導を行い、労働条件の確保や働く人の安全や健康を守る仕事であることを知り、志望しました。(林)

○なぜ三重労働局を志望したのですか？

- 山間部や海沿いの地域に加え、大規模な工業地帯や商業施設もあり、幅広い業種の経験が積めると思ったからです。また、業務説明会などの機会でも、三重労働局の職員の方々と話した際、その親しみやすい人柄に惹かれました。(畑田)
- 私は他県出身で、地元に着定する予定でしたが、三重労働局に赴任した際に先輩方から懇切丁寧な指導を受け、人間関係がよくすごく働きやすいと感じたためです。(小賀坂)

○三重労働局の魅力とは？

- 働いてみて分かったのですが、本当に日本のあらゆる業種がぎゅっと詰まった県なので、たくさんの貴重な経験が積めます。一度きりの人生ならば、いろいろな体験をした方が絶対お得ですし、それを一番かなえてくれるのが三重局だと思います。(中原)
- 大都市圏に比べ、一つの仕事にじっくりと取り組むことができ、またいろんな業種を学ぶことができるので、経験を積む場所としてはもってこいだと思います。(小賀坂)

○三重県での暮らしはどうか？

- 休日は、北に行ったら名古屋や長島で買い物を楽しみ、南に行ったら有名観光地や自然豊かな山海を楽しんでいます。最近は特にトレッキングにはまっています。(中原)
- パン屋巡りにハマっているので、近場のパン屋を見つけては食べ歩いています。私が住んでいる地域は海が近いので潮風が強く、慣れるまでは悪戦苦闘することもありましたが、これも含めて日々楽しんでいます。名古屋や大阪などの大都市へのアクセスがいいところも魅力だと思います。(畑田)

○実際に働いてみて、監督官の仕事はどうか？

- 職場では同僚と気軽に相談でき、上司からのサポートも手厚くとても働きやすいです。監督官の仕事は、労働者の権利救済を図ったり、事業場の法違反を是正させたりと結果が見えやすく、やりがいがあると感じています。(小賀坂)
- 監督署には、本当に困り果てて最後の頼みの綱として相談に来る人も多いです。暗い顔をして相談に来た事業主や労働者の方が晴れやかな顔で帰っていくとき、この仕事をやっていて良かったと思えます。(中原)

○ワークライフバランスはとれていますか？

- 残業は、ほとんどなく、ワークライフバランスは取れています。月1回以上の有給休暇も取得でき、旅行などの計画が立てやすく、充実した休日を過ごすことができます。(林)
- しっかりとれています。業務中は、先輩方が、微に入り細に入り声を掛けてくださるので、初めての業務でも、見守られていることを実感しながら、安心して進めることができます。また、マンスリー休暇の取得が推奨されているので、旅行の日程も立てやすいです。(畑田)



新任・若手監督官のサポート体制

新任・若手監督官に向けて 様々な研修等を実施

採用後すべての監督官に実施される
実地研修・中央研修に加えて、三重労働局**独自で様々な研修等を実施**
しています。

近年では以下の研修等を行っています。

- 事業がある地域が限定される業種
への合同での実地訓練
- デジタルフォレンジック機器※の
使用方法を学ぶ捜査能力向上に向
けた研修
※電磁的記録として保存された記録の収集・
解析を行う機器
- 検察官をお招きした司法実務に関
する研修



宿舎もあります！

局内での異動がありますが、県内
各地に宿舎が整備されています。

また、熊野署以外は津市内の宿舎
からの通勤が可能であり、県内で異
動があった際に毎回引越す必要はあ
りません。

宿舎は民間の賃貸物件と比べると
新規採用者でも安心の料金となっ
ており、また敷地内に駐車場も整備
されています。

新任・若手監督官に向けた サポート体制も充実

心の健康の保持増進のため、三重
労働局では新規採用・若手職員を対
象にメンター制度を設け、新規採
用・若手職員一人一人に年齢の近い
先輩（メンター）をつけ、**仕事上の
悩みなどを相談しやすい環境づくり**
に努めています。

また、最近では健康管理医等から
講習を受けた後、グループに分かれ
て年齢の近い先輩職員と自由に相談
できる場を設けるグループメンタリ
ングを実施しており、**新規採用・若
手監督官に向けたサポート体制を充
実**させています。



新卒者だけでなく、
**民間経験者も含め、
多くの監督官が活躍
しています！**

ワークライフバランスの確保に向けた取組

時間外労働の削減の取組を進めています！

ワークライフバランスの向上、職員の健康の保持増進のため、毎週水曜日の全省庁一斉定時退庁日に加え、毎週金曜日を「三重労働局一斉定時退庁日」に定め、時間外労働の削減に努めています。

月の時間外労働の実績ゼロを達成している職員も多数います！



労働基準局広報キャラクター「たしかめたん」

休暇の取得を推進しています！

三重労働局では職員に毎月1日以上の有給休暇の取得を促進する「マンスリー休暇制度」を設け、休みやすい環境づくりに努めています。

令和6年度はほとんどの所属で90%以上の職員がマンスリー休暇を取得しました。

また、ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始休暇に合わせて有給休暇を2日以上取得することを奨励し、1週間以上の休暇を取得することも推進しており、5年ごとに1週間以上の休暇を取得する節目休暇制度などもあります。



男性職員の育児休業取得を推進しています！

昨年度三重労働局では子供が生まれた男性職員で1か月以上の育児休業を希望する方の取得率100%を達成しました。もちろん女性職員の取得率も100%です。

育児休業取得後も育児の状況に応じて出退勤時間の変更や各種休暇制度、職場でのサポート体制の構築など育児と仕事の両立に向けた環境づくりに努めています。

その他介護などについても各種休暇制度等を設け、家庭生活と仕事の両立を図っています。



現役監督官の話を聞いてみたい…
職場を見学してみたい… などあれば

是非お気軽にご連絡ください！

三重労働局労働基準部監督課（担当：向中野・林）
電 話：059-226-2106

三重労働局労働基準監督官採用に
関する案内はこちらからご覧ください→

